



明海大学は、国際未来社会で活躍する有為な人材の育成をめざします

NEWS LETTER

明海大学

毎月1日発行

編集・発行

企画広報課

題字：創立者筆

永年勤続表彰式

本学に貢献した33人が受賞

大学の歴史と共に歩んだ勤続40年表彰も

5月14日、浦安キャンパスで永年勤続表彰式が行われた。今年表彰されたのは勤続40年4人、30年4人、20年11人、10年14人の計33人。法人役員、関係教職員らが見守るなか、宮田侑理事長から表彰の盾と報奨金が贈与された。

表彰の後、挨拶に立った宮田侑理事長は、受賞者へ「40年勤続の方はまさに大学の歴史と共に歩んでこられました。感謝の意を述べ、社会情勢と共によりな



40年勤続者と宮田理事長（右から2人目）

た。今は社会がめまぐるしく変化し、その変化に適応して大学も変わっていくかなければならない時代。社会の変化に機敏に対応できるよう努力しながら、これからも大学の発展、そして後継者の育成に尽力いただきたい」と述べた。

これに対し、受賞者を代表して、40年勤続の梅澤伸男さんは、「本日こうして表彰していただけるのも、ひとえに理事長をはじめ法人役員、教職員の皆様のおかげです。40年間が走馬灯のように思い出され、今日までがあったという間の出来事でした。いま大学は、学生の確保・就職・質の向上などの面で、大変厳しい状況に置かれています。学歌にあるように『何かひ

とつ』大学の発展に寄与できるようにという思いで今後も誠心誠意邁進し

歯学部生涯研修

国際レベルの歯科医療を実践

UCLAとのジョイントプログラム

5月21日、浦安キャンパスとPDI浦安歯科診療所で、2010年度生涯研修(CE)プログラム「UCLAの歯周病とインプラント短期国内留学」明海大学・朝日大学・UCLAジョイントプログラム」が行われ、28人が参加した。

同プログラムは12月までの全13日間行われ、コース1は「歯周病とインプラント12日間の実習コース」で、歯周外科の世界的権威であるカリフォルニア大学ロサンゼルス校のヘンリー・H・タケイ教授、同じくペリー・クロックボルド准教授、本学歯学部の申基詔教授、渡辺隆史生涯研修副部長、さらに歯周形成外科の権威であるトーマス・ハン先生らが講師を務める。この研修は世界の歯科医療をリードしてきた一流臨床医から直接指導を受けることができ、また、世界のスタンダードを知ることができることとあって学外からの注目度も非常に高い。

明海大学のCEは、現場の最前線で活躍する歯科医師に向け、卒業後も責任を持ってフォローアップすることを目的としている。歯科医療の発展に広く貢献す

てまいります」と謝辞を述べた。表彰された永年勤続者は次のとおり

- 40年勤続者(4人)
梅澤伸男、根本誓子、平井建邦、森田俊雄
- 30年勤続者(4人)
相沢憲司、池田浩明、北原セツ、笹沼智子
- 20年勤続者(11人)
相場 勲、石原祥世、伊藤

- 敦、浦田静代、鈴木晃子、佐野一浩、竹島一浩、辰巳順一、馬場さすべ、樋口早苗、福本晶広
- 10年勤続者(14人)
足立麻紀、新井 啓、石塚義高、大澤貴士、川成美香、小泉順一、斉藤由紀子、坂下英明、長坂 浩、秦 美和、浜島裕美、原口庄輔、福田正勝、米屋克英

ることを目指しており、本学卒業生以外の歯科医師にも開放し、国内唯一の大学運営による研修として注目を集め、国内最高レベルの国際的な研修プログラムを有している。

初日は、ペリー・クロックボルド准教授による「歯科インプラント序論 歯科治療におけるパラタイムシフト」と題した講演が行われ、続いてハンズ・オン・プレゼンテーション(器具や模型を使った実習)、インプラントの埋入の講演が行われた。参加者からは緊張感を味わいながらもその表情は充実感に溢れ、「初めて参加したが、国際的な研修で、熱気を感じた」との声も聞かれ、非常に好評な研修となった。

スペシャルインタビュー

安井学長と渡辺浦安キャンパス学友会会長に聞く

学生のマナー向上について

6月7日から浦安キャンパスで行われるマナー向上キャンペーン。今回のキャンペーン実施にあたり、学生のマナーやモラルのあり方などについて安井利一学長と渡辺貴史浦安キャンパス学友会会長（英米語学科2年）に話を聞いた。



安井学長
「人類ひと」のためにの気持ちで人間味豊かなキャンパスへ

マナーやモラルはなぜ必要ですか。
マナーやモラルは相手を気遣うという気持ちの表れであり、相手を不快にさせないよう各人が配慮して行動するものです。これらは学生の皆さんが社会に出て、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事をやっていく上で最低限、身につけておかなければならないものです。
本学においても建学の精神である「社会性・創造

性・合理性」の3つの要素のうち、「社会性」の要素でマナーやモラルが必要となります。

学生の皆さんには、在学中に心豊かな人間性や感性を備えた「明海大学の人間力」を身につけ、社会に出てからも活躍してほしい。そのためにも日ごろからマナーやモラルを尊ぶ心を持ち、規律ある行動を心がけることが大変重要であると考えます。

また、今年から始まった「学修の基礎1」においても私から新入生全員に伝えましたが、マナーやモラルに優れた大学として社会的評価を得ることは様々な場面で必ずプラスになります。明海大生は他大学の学生よりもマナーやモラルが高いと評価されるように、引き続き教職員も一丸とな

って学生の教育に努めたいと思います。

マナー向上キャンペーンなどについてお聞かせください。

キャンペーンの活動としては、ゴミのポイ捨て防止や喫煙マナーの呼びかけなどが中心となりますが、今回の実施を機にもう一度クリーンキャンペーンの目的やその想いを理解し、深めてほしいと思います。

学歌の一節に「何かひとつ 人類（ひと）のために私達にできる何かを」とあるように、一人ひとりが行動としてマナーを守り、皆が「人類（ひと）のために」という気持ちを持つと人間味のある豊かなキャンパスになります。こういうことは積み重ねが大切です。皆が一体となって実施したいと思えます。



学園祭実行委員によるゴミ分別活動



歩行マナーの呼びかけ



学生防犯ボランティアV5

渡辺学友会会長
相手の気持ちを考えることから始めよう



会長就任の際「地域と一体型の大学を目指し、クリーンキャンペーンにも力を入れ、学生のマナー意識の改善を図っていきたい。皆が過ごしやすい大学づくりが過こしやすい大学づくりに貢献したい」と語りまし

たが、特に取り組んでいきたいことは何ですか。

学内外におけるゴミのポイ捨てや喫煙ルールなどのマナー向上を重点的に取り組んでいきたいと考えています。また、クリーンキャンペーンなどの取り組みは一時的で終わらせず継続性のあるものにしていき、皆がより過ごしやすい環境にしたいと思えます。

より良い大学生活を送るために、学生一人ひとりに何が求められますか。
まずは一人ひとりがマナ

ーやモラルに関する意識を高く持つことが大切です。それと同時に、常に相手の気持ちを考えることが大切だと思います。例えば、路上における歩行マナーについても横に広がって歩くと周りにも迷惑になるので、「自分が逆の立場になって不快に感じることは何か」を少し意識することで改善を図れると思えます。

マナー向上や環境美化について、大変良い取り組みをしている団体などもありませんか。

例えば、学友会のゴミゼロ運動への参加、学園祭実行委員による学園祭期間中のゴミ分別活動、自転車盗難防止を目的とした学生防犯ボランティアV5の活動、体育会連盟会などの自主的なクラブハウス清掃活動など多数あります。また、昨年のサマーキャンプでも「学内外におけるマナー向上について」をテーマに活発な議論が展開されました。

このような良い取り組みは、ぜひ今後も継続してほしいと思います。自分自身も学園祭実行委員の一員としてゴミ分別活動などに参加したことで協調性が身に付くとともに、問題意識を持つようになり、視野も広がりました。

6月7日から始まるクリーンキャンペーンに向けての意気込みをお聞かせください。

自分たちが過ごす場所を綺麗にし、より良い環境になるよう皆で協力しあっていきたいと思えます。クリーンキャンペーンに協力したい、参加したいという気持ちがありましたら、当日でも結構ですので、ぜひ声をかけてください。

クリーンキャンペーン月間到来

浦安キャンパスでは、6月のクリーンキャンペーン月間を迎えた。このキャンペーンは、学生のマナーやモラルの向上を目的として、毎年6月と11月に実施しているもので、今年度前期は6月7日から25日までの3週間、学生と教職員が一体となり、学内およびキャンパス周辺を中心に清掃活動と巡回指導を実施する。



信号無視、路上における歩行マナーなど大学生活の環境改善のために、多くの学生の積極的な参加と活動の成果が期待される。

HJ学部社長講座

ホスピタリティ・ツーリズム業界の経営トップを講師に招き、オムニバス形式で行うHJ学部の授業「特別講義I」（通称「社長講座」）では、4月22日に社団法人日本ホテル協会会長で株式会社ホテルオークラ東京代表取締役会長、鹿島東京開発株式会社ホテル事業部長兼ホテルイースト21

総支配人の小川矩良氏、5月13日に株式会社WDI代表取締役、日本に居ながら外国気分が味わえるハーロックカフェ、カプリチョーザ、トニーローマなどのレストランを多角展開し、日本外食業界の草分け的存在である清水謙氏を招き、講義が行われた。海外からのVIPの宿泊者も多いホテルオークラ東京。小川氏はこれからの観光業界



小川氏

清水氏

について触れ、「もはや国内だけの集客は難しい。これからは国外に目を向け、観光立国を目指すなければならない」と力強く語った。また、「オークラ」はお客様に安心を提供するブランド。このブランドイメージを維持し、磨くのは大変だが、全社員が同じ方向を向いて日々努力をしていくことが大切と述べた。

また、清水氏は、「21世紀は外食産業の世紀」としてその莫大なマーケットについて説明。次いで「レストランビジネスは知識や経験、技術、コミュニケーション能力など、多様な能力を総動員しなければならぬ非常に高度で知的な仕事。さらに『期待を超えるサービス』が求められるので、ホスピタリティで他社との差別化を図っていくことが必要になっている」と語った。

歯学部学生 海外研修レポート

シエナ大学
10年4月11日～17日
6年生2人

岡野智子さん（6年） この経験を糧に 勉強に励みたい

イタリアに着いてまず驚いたことが、12時～15時くらいまで昼休みで、その間は飲食店さえも閉めてしまふ所もあり、夜は飲食店以外のほとんどの店が19時には店を閉めてしまふということ。店を閉めた後、人々は自宅でワインを飲んで



皆さん、イタリアで研修した皆さんは正しいのだろうかと考えさせられました。研修先となったシエナ大学は、医学部、歯学部と所属が分かれておらず、ある学年から自分の学びたい分野を選択するというシステムでした。学年が上がるにつれ多くの臨床の症例をこなすことができる環境であるということ、そして学生がきちんと自分の目標を持って意欲的に学んでいるという意識の

で陽気に歌ったりしながら楽しんでいました。初めは日本人とイタリア人とのギャップを感じましたが、仕事と私生活を明確に分け、自分たちの時間を大切にしているというイタリア人の考え方に羨ましさを感じ、日本

人の時間の使い方は正しいのだろうかと考えさせられました。研修先となったシエナ大学は、医学部、歯学部と所属が分かれておらず、ある学年から自分の学びたい分野を選択するというシステムでした。学年が上がるにつれ多くの臨床の症例をこなすことができる環境であるということ、そして学生がきちんと自分の目標を持って意欲的に学んでいるという意識の

学内企業セミナー

5月18日、19日の両日、浦安キャンパスで「学内企業セミナー」が行われ、サービス業をはじめ不動産業、建設業、製造業などさまざまな業種24社からの参加があった。学生の参加者は2日間で約3百人。やや緊張した面持ちでスーツに身を包み、企業関係者から事業内容や求める人材像などの説明を真剣な表情で聞く姿が見られた。今年は複数の企業の説明を聞いた



企業担当者の説明を真剣に聞く学生ら

めに終日参加した学生も多く、特に学生から人事担当者へ熱心に質問する光景が目立ち、就職に対する意識の高さがうかがえた。また、

学生の就職を実現させるために日本語学科を中心に会場で学生をサポートする教員の姿が見られ、教員に背中を押してもらった学生は、より意欲的にブースを回っていた。参加した学生は、「希望するホテル業界への就職を目指し、少しでも自分をアピールして内定を得られるよう頑張りたい」と話した。ある企業の人事採用担当者からは「今すぐにでも採用したい学生が複数名おり、良い人材と出会えたのは収穫だった」との声がかかれた。

私がこの研修に参加できて本当に良かったと感じたことは、イタリアにおける歯学部や病院の実情を自分の目で見る事ができたこと、またゴシック時代・ルネサンス時代・バロック時代の美術や建築などの貴重な文化に直接触れることができたこと、イタリア人の温かい人情や生活に触れ、日本から遠く離れた土地で自分の生き方について広い視野を持って考える機会を与えてもらったこと、朝日大学の人々との交流ができたことなどです。今回の研修は私にとって何にも代え難い貴重な財産となりました。

この経験を糧にし、今後の勉強や臨床に励みたいと思います。

浦安ブランド開発プロジェクト

岩下ゼミが松崎市長を表敬訪問

5月26日、HT学部部の岩下哲典教授を始め、岩下ゼミ生の田名部麗さん(4年)、浅野未帆さん(4年)、亀山亜佑子さん(4年)および梶原麻里奈さん(4年)の4人が松崎秀樹浦安市長を表敬訪問した。学生らは、HT学部岩下ゼミと浦安商工会議所が共同で進めている地域ブランド『浦安の絆』の商品開発コンテストの開催とその趣旨などについて説明をするともに、松崎市長に特別審査員としての

参加依頼をした。続いてコンテストの学生実行委員長である田名部さんが、告知ポスター案や当日の流れなどの説明をした。浅野さんは松崎市長に「私たちは4年間、浦安にある明海大学に通うなかで、浦安の海風吹く街並みや市民の方々の温かみを感じてきました。そのうちに感謝の気持ちを抱き、もっと浦安の魅力を外へ伝えていきたいと考ええるようになりました。そこでこのプロ

ジェクトを通して、浦安を大切に想う人々の絆を深めるとともに、地域を活性化させることで恩返しをしたいと考えています。また、これらの取組は、浦安市や千葉県、そして日本全体の活性化へ繋げていくことも可能だと思えます」と話した。なお、コンテストは11月14日に実施することが決定し、詳細については今後、ポスターやホームページなどで告知することになる。 ※本学ニュースレターでも告知します。



松崎市長(右から4人目)と岩下ゼミ生ら

HT学部 特別企画 一人暮らしの知識と危機管理説明会



懇談を楽しむ新生ら

5月19日、浦安キャンパスのレス・ニユー・マリンドームで、HT学部の教員による特別企画として、一人暮らしの知恵と危機管理に関する説明会

が行われた。これは、今春HT学部に入学生し、一人暮らしを始めた新生入生(留学生を含む)に一日も早く新しい環境に慣れてもらうことを目的に意見交換のできる場として懇親会形式で行われ、一人暮らしを始めたばかりのHT学部新生および教員ら約80人が参加した。冒頭、草野健学部長の挨拶に続いて、関千里講師からパーティーでのマナーについて話があり、懇親会がスタート。学生や教員ら

が食事を介して打ち解ける中、白田眞一教授から一人暮らしをする際の注意点について説明があり、さらに、在学生の田名部麗さん(4年)から実体験を交えた危機管理の重要性について説明があった。その後、抽選会など楽しい企画もあり、会場は大いに盛り上がった。参加した学生からは「一人暮らしに対する不安もあったが先生方や先輩の説明で解消された」といった声が聞かれた。

09年度春季インターンシップ報告会

4月14日、16日、20日の3日間、浦安キャンパスで総合教育センター主催の09年度春季インターンシップ報告会が行われた。これは、インターンシップ研修の締めくくりとして毎年夏季と春季に開催されており、今回は、2・3年生を中心にホテル業界・旅行業界・自動車業界・不動産業界など、様々な業界で研修をしてきた学生27人が

出席した。参加学生の報告からは「実際に働くことで、その業界についての新たな知識を得ることができ、改めて興味が強くなった」「仕事場では多くの人々に関わるため、コミュニケーション能力の重要性がわかった」「英会話力を求められる場面が多かったので、就職に向けて英語力の向上を図っていききたい」「厳しい就職環境を乗り切るためにも在学中の資格取得に力を入れていきたい」



研修の成果を報告

浦安ブランド開発プロジェクト

このプロジェクトは「産・学・官」が三位一体となり、浦安オリジナル商品を開発し、浦安市の地域活性化に結びつけようと09年10月に発足。本学からは岩下教授が運営委員として参加している。第一弾では、浦安商工会議所が発案した熟成品菱焼酎「浦安の絆」を昨年12月に商品化した。続く第二弾以降の商品化では、岩下ゼミの学生が企画・運営などを一任される予定となっている。

といった声が聞かれ、研修で得たものを糧に、前向きに就職活動に取り組みとういう決意がうかがえた。今年の夏季インターンシップ研修では、さらに多くの学生の参加を期待したい。

第40期決算報告（2009年度）

資金収支計算書

単位：円

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	8,655,069,332	人件費支出	5,229,641,132
手数料収入	82,077,810	教育研究経費支出	2,426,789,182
寄付金収入	8,840,000	管理経費支出	884,846,570
補助金収入	626,810,988	施設関係支出	1,897,485,341
資産運用収入	3,344,854,317	設備関係支出	298,799,579
資産売却収入	11,677,637,074	資産運用支出	18,940,982,528
事業収入	278,705,702	その他の支出	2,727,516,425
医療収入	1,814,915,226		
雑収入	49,833,067		
前受金収入	1,499,119,996		
その他の収入	9,194,020,460		
資金収入調整勘定	△ 2,003,321,597	資金支出調整勘定	△ 749,193,794
前年度繰越支払資金	9,096,651,581	次年度繰越支払資金	12,668,346,993
収入の部合計	44,325,213,956	支出の部合計	44,325,213,956

消費収支計算書

単位：円

消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	8,655,069,332	人件費	5,261,802,705
手数料	82,259,310	教育研究経費	3,103,356,768
寄付金	22,249,928	管理経費	1,009,132,877
補助金	626,810,988	資産処分差額	2,012,997,945
資産運用収入	3,344,854,317	徴収不能額	24,731,000
資産売却差額	10,380,000	徴収不能引当金繰入額	31,179,209
事業収入	278,705,702		
医療収入	1,814,915,226		
雑収入	50,003,942		
帰属収入合計	14,885,248,745		
基本金組入額合計	△ 8,985,137,190		
消費収入の部合計	5,900,111,555	消費支出の部合計	11,443,200,504
		当年度消費支出超過額	5,543,088,949
		前年度繰越消費収入超過額	26,136,139,469
		翌年度繰越消費収入超過額	20,593,050,520

貸借対照表 2010年3月31日

単位：円

資産の部		負債の部	
固定資産	123,554,336,848	固定負債	3,283,734,455
有形固定資産	41,248,963,422	長期借入金	0
土地	27,283,014,283	退職給与引当金	3,283,734,455
建物	9,445,806,264	流動負債	2,356,717,037
構築物	526,644,990	短期借入金	0
教育研究用機器備品	859,347,864	未払金	742,553,909
その他の機器備品	89,393,614	前受金	1,499,119,996
図書	3,042,520,111	預り金	115,043,132
その他	2,236,296	負債の部合計	5,640,451,492
その他の固定資産	82,305,373,426		
有価証券	26,775,197,823	基本金の部	
長期貸付金	36,410,245	第1号基本金	57,856,076,883
退職給与引当特定資産	3,283,734,455	第2号基本金	6,297,000,000
第2号基本金引当資産	6,297,000,000	第3号基本金	45,403,000,000
第3号基本金引当資産	45,403,000,000	第4号基本金	700,000,000
その他	510,030,903	基本金の部合計	110,256,076,883
流動資産	12,935,242,047		
現金預金	12,668,346,993	消費収支差額の部	
未収入金	162,840,647	翌年度繰越消費収入超過額	20,593,050,520
貯蔵品	17,661,709	消費収支差額の部合計	20,593,050,520
短期貸付金	9,129,482		
その他	77,263,216		
資産の部合計	136,489,578,895	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	136,489,578,895

学校法人の09年度決算確定

学校法人明海大学の09年度決算は、監事の監査および公認会計士の法定監査を受け、10年5月25日の理事

会で承認され確定した。消費収支計算書や貸借対照表に示された通り、09年度も引き続き健全な財務内容を維持することができた。

明海スポーツ

体育会ヨット部

総合で7位に!!

4月24日から5月3日にかけて神奈川県葉山沖で行われた平成22年度春季関東学生ヨット選手権大会で本学ヨット部が470級で6位に、また、スナイプ級では7位となり、総合成績で



秋季関東インカレのシード権を獲得

順位	大学名	470級	スナイプ級	合計
1	慶應義塾大学	113	191	304
2	早稲田大学	122	206	328
3	日本大学	208	283	491
4	中央大学	265	233	498
5	法政大学	245	334	579
6	明治大学	495	218	713
7	明海大学	402	455	857
8	横浜国立大学	424	455	879
9	立教大学	456	489	945
10	東京工業大学	548	502	1050

※合計得点の低いほうが上位

も7位となった。

470級には26校が出場し、本学は4年連続で決勝に進出。決勝では伝統校や強豪校と競い合い、昨年に続いて6位に入賞した。また、スナイプ級は初出場の本学を含め、20校により行われた。1年生主体のチーム構成だったが、見事、決勝進出を果たし、7位となった。

この結果、470級とスナイプ級の結果を合わせた総合成績で7位となり、両種目とも秋季大会のシード権を獲得した。

國府田由隆監督は「目標である4位にはほど遠い成績だが、今回のレースで自分たちの実力を知り、多くのことを学ぶことができた。これから5カ月後の秋の関東インカレまでにどれだけ成長できるかが勝負だと思っている」と語った。

体育会空手道部

関東学生空手道選手権

小林選手と二瓶選手が全日本出場へ

5月5日、第38回関東学生空手道選手権大会が日本武道館で行われ、女子個人

組手で小林莉紗選手(経済学科4年)が本学初となるベスト16に、男子個人組手では二瓶孔手選手が(経済学科2年)ベスト32となり、6月20日に大阪中央体育館で開催される全日本学生空手道選手権大会への出場が決定した。

小林選手は初戦で強豪の大正大学の選手を相手に僅差で勝利したことで勢いに乗り、3回戦ではシードの帝京大学の選手も破り、見事ベスト16に進出した。

また、二瓶選手も2回戦でシードの帝京大学の選手に勝利し、その後も勝ち進みベスト32となった。

小林選手は「4年になって初めて全日本に出場できるので、一試合でも多く勝てるように全力を尽くし、悔いの残らない戦いをしてほしい」、二瓶選手は「大会に向けて精一杯練習し、良い成績が残せるように頑張りたい」とそれぞれ力強く語った。両選手の活躍に期待したい。



二瓶選手(左)と小林選手

東日本大学空手道選手権

男女ともにベスト16に

5月23日、第46回東日本大学空手道選手権大会がいわき総合スポーツセンターで行われた。男子団体組手は、1回戦、千葉工業大学に4対1で勝利。続く2回戦は愛知学院大学に安定した試合運びで5対0で勝利した。続く3回戦は、優勝候補の一角である国士館大学と対戦し、0対4で敗退した。敗れはしたものの内容的に互角に戦えたこともあり、今後に向けて手ごたえを掴んだ大会となった。また、女子団体組手は、1回戦、青山学院大学に2対1で勝利し、2回戦の日本大学に0対3で敗戦となった。この結果、男子、女子ともにベスト16入りを果たした。

体育会サッカー部

千葉県予選で3年連続優勝を果たす

4月29日から5月16日にかけて行われた平成22年度千葉県サッカー選手権大会兼総理大臣杯千葉県予選で、本学サッカー部が3年連続となる優勝を果たした。この大会は、全18大学によるトーナメント形式で行われ、上位2チームが第34回総理大臣杯全日本大学サッカーナメント関東代表決定戦予備予選に進出することができる。予備予選で1勝すると、関東代表決定戦(6チームによるト



千葉県予選で3連覇を果たした

ーナメント戦に出場でき、ここで優勝すると全日本大学サッカーナメントへの出場となる。

千葉県予選では、初戦の城西国際大学に3対0で勝利。2回戦の千葉商科大学には5対1、続く準決勝の東京理科大学には7対2で快勝し、この時点で予備予選進出を決定した。決勝戦は5月16日、本学グラウンドで行われ中央学院大学を相手に2対0で勝利し、見事優勝を果たし、予備予選進出を果たした。

その予備予選は5月22日に行われ横浜国立大学と対戦し、惜しくも延長で3対4で敗れた。

体育会総会

人材育成の環境づくりを図る



各クラブの代表が決意表明

5月10日、浦安キャンパスで初となる体育会総会が開催された。総会には体育会所属クラブの部員や学長、教職員らおよそ150人が参加した。冒頭、安井利一学長から「体育会が活躍し大学の名声が高まることは、在学生に限らず同窓生、保護者など本学関係者すべての願いでもあり、皆さんは大事な役割を背負っている。体育会には大きな成果をあげていただきたい」と挨拶があった。引き

続き、近江彰体育会会長、来賓の印南彰雄浦安キャンパス教育後援会副会長、北原淳浦安キャンパス同窓会会長から激励の挨拶があり、その後、各クラブの部長および監督から今年度の活動目標と決意表明、さらに新入部員の紹介が行われた。

体育会は、学長直轄の大学が運営する組織として位置付けられ、現在、サッカー部、ヨット部、空手道部の3団体が強化指定クラブ

として活動を行っている。06年7月発足以来、年々着実に成果を上げ、今年はさらにステップアップするための重要な1年となる。近江体育会会長は「これまで培ってきたものをベースに、今年には有望な新入部員も加わり、各クラブが今年度の目標を達成することを期待している。大学としても、大学活性化の原動力となる人材が育つような環境づくりを今後とも図っていききたい」と抱負を語った。



今後の更なる活躍に期待がかかる陸上競技部

陸上競技部

陸上競技部3人が入賞を果たす

第73回東京陸上競技選手権大会が、5月1日と2日にかけて国立競技場と大井陸上競技場で開催された。男子ハンマー投では、中西啓太選手（不動産学科4年）が、昨年度の明海大記録を約4mも上回る50・92mの自己新・明海大新の好記録をマークし4位に入賞。さらに、山方周選手（経済学科3年）も46・45mを投げ

て7位に入賞をした。男子100mでは、福嶋樹選手（経済学科4年）が11・08秒の好記録で6位入賞を果たした。

続いて第89回関東大学生陸上競技対校選手権大会が5月16日に国立競技場で行われ、男子2部ハンマー投決勝で中西選手が先の記録をさらに上回る51・7mで4位入賞を果たした。

新入生歓迎球技大会

5月22日、歯学部学生会主催の「新入生歓迎球技大会」が歯学部グラウンドで行われ、1年生から6年生までの11チーム、約150人が参加した。この大会は学生会が主体となり新入生

と在学生の親睦を図る目的で行っており、種目はソフトボール。当日は晴天の中、草間重教務学生部長と大川周治副教務学生部長の挨拶の後、草間教務学生部長の始球式で幕を開けた。トーナメント形式で、全11チームの頂点に立ったのは5年生チームの「はらす」。新入生からは、「先輩方と話をするよい機会となり、試合には負けたが有意義な大会だった。来年は優勝を目指したい」、ま



女子学生も参加し、ナイスバッティングを披露

た、5年生の男子学生からは「講義と実習の毎日なので、非常に楽しかった。他学年との交流を深めるとてもよい機会になった」との感想が聞かれた。

オープンカレッジ 2010サマーフェスティバル開催のお知らせ

■パーソナルレッスン

日時/7月21日(水)~7月24日(土) 10:00~21:45 [24日のみ 10:00~21:15] 場所/メイカイクラブスイミングプール 対象/会員 参加料金/2,500円 ※事前申込み

■水中バレーボール大会

日時/7月25日(日) 10:30~13:00 (予定) 場所/メイカイクラブスイミングプール 対象/会員 参加料金/入館料 ※事前申込み

■納涼会

日時/7月25日(日) 18:30~20:30 (予定) 場所/晴天時 メイカイクラブ駐車場 (雨天時 30周年記念館学生ホール内・ホール前付近) 対象/本学学生・本学教職員・賛助会員・一般 参加料金/参加料金に関しましては、オープンカレッジまでお問い合わせください。

お問い合わせ

明海大学浦安キャンパス学事課 (オープンカレッジ担当) TEL:047-355-5115 FAX:047-355-5113 E-mail:m-open@meikai.ac.jp URL:http://meikaiclub.jp

別科生スポーツ交流会

晴天のもと なごやかに交流

4月30日、浦安キャンパス第2講義棟に隣接するバスケットコートなどでスポーツ交流会が開催され、別科生39人のほか内田みつ子別科教務主任ら別科教員も参加した。

スポーツ交流会は毎年行われ、別科生および教員の親睦を図ることを目的とした人気行事。今年は、クラスの垣根を超えて親睦を図りたいとの別科生の意見を取り入れ、くじ引きでAからFまでの6チームに分かれ、ドッジボールと大縄とびを行い、さらに、バスケットボール経験者による試合が行われた。スポーツ交流の後は、講義棟に戻り、デジタルカメラで撮影したばかりの写真を使ってクラスごとのパネルを作成し、廊下に展示した。

終了後、内田教務主任は、「初めての屋外でのスポーツ交流だったが、天気にも恵まれ、爽やかな空気の中で和



親睦を深める別科生ら

気満々のうちに終了することができ、たいへん有意義だった」と語った。

また、参加した別科生からは、「ドッジボールで優勝できたのはうれしかったが、勝ち負けに関係なく皆と一緒にスポーツができてよかった」（マニボンさん）、「ラオス」、「高校を卒業して以来、好きなスポーツをするチャンスがあまりなかったので、とても楽しむことができた、他のクラスの友だちとも仲良くなった」（趙洪玉さん）と中国）とのコメントがあった。

SD活動

10年度新入職員研修を実施

4月28日と30日の2日間、坂戸、浦安の両キャンパスでスタッフディベロップメント(SD)活動の一環として「10年度新入職員研修」が行われ、10人の新入職員が参加した。研修は「大学の沿革と組織」「事務職員に必要な基礎知識」のほか、各部署の業務と仕事を学ぶうえで

の心構えなどについての説明が行われた。新入職員にできるだけ分かりやすくするため、各部署の先輩職員が工夫を凝らした説明資料を作成。先輩職員にとっても良い研修の場となった。また、グループワークでは若手先輩職員を交えたディスカッションが活発に行われた。

参加者からは「職員としての必要な基礎知識を得ることができた」「他課の業務内容も知ることができ、今後の業務を遂行するうえで役立つと思う」「若手先輩職員の話が聞けて大変



ディスカッションの様子

考になった」などの声がかれた。これからの明海大学を担う若い力に期待したい。

10年度浦安キャンパス同窓会代議員会開催 同窓会と大学のために なる事業を推進

5月15日、浦安キャンパスで10年度同窓会代議員会が開催され、代議員31人と安井利一学長をはじめとする教職員10人が出席した。冒頭、同窓会の北原淳会長(92年日本語学科卒)と安井学長から挨拶があり、引き続き、同窓会事業報告、決算報告、新役員および代議員の選出、新年度事業計画、予算案などが審議された。10年度会長には北原会

長が再任され、主体事業として「広報」「連絡会」「支部」「企画」「財務」に加え、同窓会本部内の各事業に対し、企画立案や推進支援を目的とした「事業支援」を新設。協力・援助事業の「学生活動支援」を含めた7項目で活動することとなった。

北原会長は「同窓会と大学のためになる事業を推進



挨拶をする北原会長

していきたくないので、皆さんのご支援をお願いしたい」と語った。

名誉教授称号記 授与者 (敬称略)

小関八重子 (経済学部)

76年東京大学大学院人文科学研究科博士課程心理学専攻単位取得退学。88年本学教授に就任。

人事往来

教員人事

坂戸キャンパス

退職 5月31日付

社会健康科学講座 口腔衛生学分野助教 杉 陽子

6月の行事予定

- 3日(木) 外国語/HT学部教授会 応用言語学研究科委員会
- 10日(木) 経済/不動産学部教授会 経済学/不動産学 研究科委員会
- 17日(木) 不動産学研究科委員会
- 23日(水) 歯学部教授会/歯学研究科委員会

MEIKAI OPEN CAMPUS 2010

自分らしく「新しいこと」見つけよう!

浦安キャンパス		
6/20日	7/17±	7/25日
8/1日	8/21±	8/28±
9/18±	10/17日	
坂戸キャンパス		
6/27日	7/25日	8/22日
9/12日	10/9±	10日

※この用紙は100%再生紙を使用しています。